

年頭の挨拶

奥出雲町長 岩田 一郎

新年明けましておめでと
うございます。
皆様には、ご家族お揃い
で輝かしい新春を迎えられ
ましたこと、先ずもってお
慶び申し上げます。
昨年は五十年に一回とい
われる合併が、町民の皆様
のご理解のもと、合併特例
法による期限直前の三月七
日に合併調印を行い、三十
一日に新生奥出雲町が発足
いたしました。
合併ができましたので、
新町の諸施策も着実に推進
することができ、合併協議
会の委員の皆様、旧町議
会の皆様をはじめ町民の皆
様のご支援、ご協力に対し
改めてお礼申し上げます。
昨年を振り返ってみます
と、国内では、全国的に市
町村合併により新しい市町
村が誕生した一年でありま
したが、事件、事故もアス
ベスト被害や前代未聞の耐
震強度偽装事件など国民の
「安全」が脅かされるよう
な重大な事件が数多く起
つた年でもあり、また十二
月中旬からは記録的な大雪

となり、家屋、農業施設等
大きな被害が発生し対応に
追われた歳末となりました。
さて本年の我が国の経済
情勢は回復傾向にあります
が、中国の突出した経済発
展、世界的な原油価格の高
騰や国内では公共工事の抑
制など依然厳しい状況にあ
ります。

閣議決定された国の来年
度予算をみますと、八年ぶ
りに八十兆円を下回る緊縮
型予算となるなど十八年度
は一段と厳しい国の予算と
なっております。

このような中、本町の平
成十七年度一般会計予算は
十二月補正後で百六十三億
円と要望の事業を計上し、
多くの建設事業を実施して
越年することができました。

しかし、新町の道路、情
報通信基盤、上下水道、学
校、病院、介護施設をはじ
め生活環境整備の実態は地
域間に格差があり、今年度
も健全な財政運営に配慮し
つつ、引き続き補助金、有
利な起債等を積極的に導入
し、新町の一体感の醸成の

ための環境整備を図ってい
く考えております。特に国
営農地開発地につきましては、
は、昨年町内四社の企業参
入があり、さらに今年は周
年型のハウスでの二ヘクタ
ール規模のフルーツトマト
の生産計画がありますので、
更に遊休農地の利用に努め
て参ります。

さて、昨年の稲作は作況
指数も一 二となり、特に
昨年の全国米・食味分析鑑
定コンクールにおいて、仁
多米は金賞、審査員特別優
秀賞を受賞し、仁多米の知
名度がますます高まったこ
とは町民の皆様とともに喜
びに耐えないところであり、
今後も全国一と評価された
仁多米の産地づくりに努め
る考えであります。

畜産につきましては、県
下トップの和牛産地として
畜産農家の所得向上に努め
たいと考えております。特
に、来年十月に米子市で開
催されます「全国和牛能力共
進会」への出品対策に重点的
に取り組み、上位入賞を果
たしたいと存じます。

そのほか昨年は、蔵屋地内
の結川地区道路整備、よこた
グラウンド・ゴルフ場が竣
工したほか、尾原ダム関連
の道路や上下水道の整備、

高田・加食東・三井野地区
における基盤整備事業等を
実施するとともに、馬木、
八川両公民館や六力所の公
会堂建築事業、働き場の確
保のための貸工場購入事業、
ホッケー場・テニスコート・
陸上競技場の全天候化事業
等多くの新規事業にも着手
することができました。

特にテレビ地上波のデジ
タル化に対応した横田地域
の有線テレビ、インターネット
ツト網の拡充につきまして
は、国の採択を受けて事業
に着手しており、来年度は
横田地域で放送を開始する
予定です。

スポーツの分野でも大活
躍した一年でもありました。
中学校では中規模校であ
りながら、各運動部、ブラ
スバンド部、園芸部などが
県・全国大会で活躍し、特
に全日本中学生ホッケー選
手権大会で仁多中学校男子
ホッケー部が初の全国制覇、
横田中学校女子が準優勝し、
全日本中学生十一人制ホッ
ケー選手権大会では、仁多・
横田両中学校の選抜チーム
により男子は二年連続優勝、
女子も三位という輝かしい
成績を残したほか、おおよ
ま国体では横田高校女子ホ
ッケーチームが準優勝し、

また消防団も亀島分団が県
消防操法大会で準優勝の
栄に輝き、奥出雲町消防団
のスタートを飾ることがで
きました。

町内では、三沢要害山築
城七百年祭やメガネの三城・
故多根良尾翁生誕百年記念
事業、二千五百人の観客を
魅了した太鼓まつりなど大
きな行事も多くありました。
また、合併後の補助金、
使用料の調整等につきまして
は、原則、町からの各種
補助金は高い方に、使用料
等町民の皆様への負担は安
方へと調整するとともに、
これまで以上の住民サービ
スを提供するため、行政改
革審議会並びに行政改革推
進本部を設置しましたので、
行財政改革を一層推進して
参る所存であります。

合併により面積、人口、
予算規模も倍となり、合併
とはこんなに忙しいもの
かと実感しながら新年を迎
えました。
本年が奥出雲町にとりま
して、また皆様にとりまし
て、明るく希望に満ちた幸
多き年となりますよう、年
頭にあたり心からお祈り申
し上げ新年のご挨拶とい
いたします。

米寿 おめでとうございます



奥出雲町では、米寿（大正8年1月1日から同年12月31日生）をお迎えにな
る方が今年は、109人いらっしゃるそうです。
町からは、自治会長さんを通じて祝品を贈り、米寿をお祝いしました。
皆様の健康長寿をお祈りします。

八代本町	多根 禮一さん	西湯野	宇治部 政雄さん	上鴨倉	吉川 トキエさん	稲田	堀江 信子さん
八代本町	宇田川 ノブ子さん	中湯野	村上 君子さん	山田	浅須 末子さん	稲田	藤原 益子さん
八代町	川角 千代衛さん	大内原	若槻 孝義さん	中丁	坪倉 テルヨさん	稲田	戸屋 廣子さん
中村	岸本 傳吉さん	琴枕	石原 タカ子さん	福頼	高橋 クマエさん	原	川島 ヒデオさん
中村	内田 ミチ子さん	高田	若槻 菊枝さん	福頼	鐵池 静子さん	坂根	佐伯 花代さん
上布施	松田 ウメノさん	玉峰苑	細木 雅子さん	日向側	恩田 和美さん	中八川	小川 クニエさん
馬馳下	石原 菊蔵さん	玉峰苑	岩名 候子さん	追谷	落合 松代さん	中八川	佐伯 ヨシさん
馬馳下	石原 正次郎さん	真地	若月 ヨミ子さん	大曲	中津 房代さん	中八川	友塚 トミエさん
馬馳下	石原 正次郎さん	米原	内田 登美子さん	大市	浅山 彌生さん	八川本郷	田部 シゲヨさん
馬馳下	脊尾 ノブ子さん	上町	松尾 久吉さん	大市	小林 哲子さん	古市	渡部 梶代さん
上三所西部	部田 光重さん	上阿井町	末森 常代さん	大市	古川 松次郎さん	川西	田部 タマノさん
上三所西部	泉 國吉さん	福原	川角 朝子さん	大市	和泉 儀吉さん	川西	中村 静江さん
上三所中央	内田 シゲノさん	福原	若槻 筆利さん	馬場	高木 鶴子さん	土橋	松浦 楠子さん
上三所東部	恩田 定次郎さん	あいなみ	若月 忠則さん	馬場	峯石 サダ子さん	大谷本郷	渡部 タマヨさん
上三所東部	吉川 利雄さん	あいなみ	坪倉 ミサヨさん	馬場	木山 久利さん	大谷本郷	安部 フサノさん
上高尾	永沼 千代子さん	平	足木 イクエさん	やりめ	若月 ヨシ子さん	旭	梅木 豊さん
上三成上	景山 幸枝さん	平	立石 敏夫さん	五反田	安部 フサノさん	女良木	石原 富子さん
上三成下	長谷川 タカヨさん	鑄物屋	大坪 金三郎さん	五反田	山本 佐千代さん	大鷹本郷	家熊 義治さん
上本町	白名 アサさん	鑄物屋	大坪 金三郎さん	鑄物屋	水岩 田クニ代さん	堅田野伏	松島 吉江さん
上本町	内田 ヨシエさん	堅田	景山 勇雄さん	鑄物屋	矢壁 絹子さん	堅田野伏	石原 スミエさん
上本町	内田 ヨシエさん	下鞍掛	系賀 タケノさん	鑄物屋	水岩 田クニ代さん	反保	石原 宣子さん
三成本町	川西 露子さん	下鞍掛	系賀 タケノさん	鑄物屋	水岩 田クニ代さん	反保	戸屋 キミヨさん
三成本町	内田 モリ子さん	三沢町	森山 邦吉さん	蔵屋	佐藤 清一さん	小馬本郷	内田 山之助さん
三成本町	長岡 令憲さん	三沢町	森山 邦吉さん	蔵屋	松崎 クニヨさん	小馬本郷	常盤 晴正さん
三成本町	川西 澄子さん	原田	田部 吉乃さん	蔵屋	藤原 敏子さん	小馬本郷	松浦 節雄さん
三成本町	小田 川 君子さん	原田	田部 吉乃さん	蔵屋	藤原 敏子さん	小馬本郷	松浦 節雄さん
三成本町	恩田 良子さん	四日市	景山 タマさん	原田	田部 吉乃さん	蔵屋	藤原 敏子さん
三成本町	恩田 良子さん	四日市	景山 タマさん	原田	田部 吉乃さん	蔵屋	藤原 敏子さん
三成本町	安部 マスエさん	上鴨倉	源 千ヨ子さん	原田	田部 吉乃さん	蔵屋	藤原 敏子さん
三成本町	佐藤 正江さん	上鴨倉	源 千ヨ子さん	原田	田部 吉乃さん	蔵屋	藤原 敏子さん